

# 東シナ海ブロック水産業情報

No. 115(2021年10月~12月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>特になし。</p>	<p>○筑前海 ・カキのへい死状況は、平年並み。</p> <p>○有明海 【ノリ養殖】 ・10月21日に野外採苗開始。 ・11月29日～12月3日に<i>Chaetoceros</i> spp.の赤潮により栄養塩は低下したが、色落ち等の被害なし。 ・秋芽生産は12月25日まで行われ、4～5回の摘採であった。 ・生産枚数3億8,644万枚(過去5年比107%)、生産金額49億6,574万円(過去5年比105%)、平均単価12.85円(過去5年比-0.25円)。 ・冷凍網の出庫は12月28日から開始された。</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・順調に経過。平年とおおり11月中旬より販売開始。 【栽培関連】 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。 【アカモク増殖】 ・投石による増殖場造成を実施。</p>	<p>○有明 ・マガキ養殖(有明海大浦地区) 今年度は、夏季の高水温、低塩分、シロボヤやフジツボの大量付着等により養殖マガキの大量斃死が発生した。そのため、生産量は令和2年度の約11トンと同程度の見込みとなっている。令和4年度は生産分については、2月上旬に宮城県産の種ガキを搬入し、その後抑制柵で抑制する予定である。</p> <p>・ノリ養殖 今年度は、10月21日のスタート直後から、西南部地区を中心に赤潮によるノリの色落ち被害が発生し、現在も継続中である。一方、東中部地区では一部で色落ちが発生しているものの、概ね順調に生産が行われており、今年度も地域格差が広がっている。</p> <p>○玄海 ・アカウニ: 9/22採卵、令和4年3月に15mmサイズ15万個出荷予定。 ・アラメ: 10/7採苗、11/15葉長5mm、12月に冲出し。</p>		<p>ブリ: ノカルジア症 カンパチ: レンサ球菌症、抗酸菌症 シマアジ: レンサ球菌症</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・スジアラ種苗生産: 950尾を生産(10月)。</p>	<p>・令和3年8月以降、カンパチ及びシマアジにおいて血清型不明のα溶血性レンサ球菌症が発生している。特にカンパチではワクチン接種済の魚で発生していることから対応に苦慮している。</p>		